

## 2年 ファインアート科

# 先端メディア

担当教員 八幡純和、渡邊遼平、岡山拓史

受講アトリエ [401]

11/13 (火)~12/11 (火)

9:00-12:00

### 授業内容

WEB、SNS、APP、VRなど様々なテクノロジーやサービスの仕組みを紹介し、個別にコミュニケーションを取りながら作品制作をしてもらいます。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月13日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
2	11月20日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
3	11月27日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
4	12月4日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
5	12月11日	火	○	VR制作		実技カリキュラム	
6	1月15日	火	○	制作		実技カリキュラム	
7	1月22日	火	○	制作		実技カリキュラム	
8	1月29日	火	○	制作		実技カリキュラム	
9	2月5日	火	○	制作		実技カリキュラム	

### 学習目標

昨今のメディアやサービスへの理解を深め、それらを自分の作品制作や発表方法に取り入れてもらいます。そして今後より多様化する社会の中で柔軟に活動できるよう応用力と適応力を高めてもらうことを目指します。

### 予習・準備物

好きなアーティストのWebサイト、興味あるジャンルなどのWebサイトをリストアップ。

### 注意事項

欠席をしないこと。

### 評価方法

課題作品：70% 制作態度・積極性：30%

## テーマ制作B

担当教員 山口 藍

受講アトリエ [801]

10/25 (木)~12/7 (金)

## 授業内容

描こうとする題材（テーマ）を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び（あるいは作り）制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	10月25日	木		準備	○	オリエンテーション		
2	10月26日	金		制作		制作		
3	10月27日	土		制作 日本語		制作		
4	10月28日	日						
5	10月29日	月		制作 フランス語		制作		
6	10月30日	火		現代美術実習		制作		
7	10月31日	水		芸術論 制作	○	制作		
8	11月1日	木		制作		制作		
9	11月2日	金		制作		制作		
10	11月3日	土	文化の日					
11	11月4日	日						
12	11月5日	月		制作 フランス語		制作		
13	11月6日	火		現代美術実習	○	制作		
14	11月7日	水		芸術論 制作		制作		
15	11月8日	木		制作		制作		
16	11月9日	金		制作	○	制作		
17	11月10日	土		制作 日本語		特別講座		
18	11月11日	日						
19	11月12日	月		制作 フランス語		制作		
20	11月13日	火		先端メディア	○	制作		
21	11月14日	水		芸術論 制作		制作		
22	11月15日	木		制作		制作		
23	11月16日	金		制作		制作		
24	11月17日	土		制作 日本語		制作		
25	11月18日	日						
26	11月19日	月		制作 フランス語		制作		
27	11月20日	火		先端メディア	○	制作		
28	11月21日	水		芸術論 制作		制作		
29	11月22日	木		制作		制作		
30	11月23日	金	勤労感謝の日					
31	11月24日	土		制作 日本語		制作		
32	11月25日	日						
33	11月26日	月		制作 フランス語		制作		
34	11月27日	火		先端メディア	○	制作		
35	11月28日	水		芸術論 制作		制作		
36	11月29日	木		制作		制作		
37	11月30日	金		制作	○	制作		
38	12月1日	土		制作 日本語		制作		
39	12月2日	日						

40	12月3日	月	制作	フランス語		制作	
41	12月4日	火	先端メディア			制作	
42	12月5日	水	芸術論	制作		制作	
43	12月6日	木	制作			制作	
44	12月7日	金	制作		○	講評	

## 学習目標

### ■支持体と描画の関係性

平面絵画において、特に支持体が作品にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。

## 予習・準備物

支持体として活用できるもの。作品の題材となる図書など

## 注意事項

自分が選択した題材および素材に真摯に向き合い、今後の制作活動にもつなげていけるような作品にするため、チェック日には必ず話し合えるようにしましょう。

## 評価方法

提出課題による採点

2年 ファインアート科

# 現代美術実習

担当教員 宇治野宗輝

受講アトリエ [501]

10/2 (火)~11/6 (火)

9:00-12:00

## 授業内容

絵画以外の形式で作品を制作。詳細は初日にディスカッションをして決定。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月2日	火	○	制作			
2	10月9日	火	○	制作			
3	10月16日	火	○	制作			
4	10月23日	火	○	制作			
5	10月30日	火		制作			
6	11月6日	火	○	制作			

## 学習目標

今までやったことのないことをやる。

## 予習・準備物

## 注意事項

## 評価方法

授業態度及び提出課題による採点

2年 ファインアート科/ビジュアルデザイン科

## 絵画技法実習（水彩）

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [502]

9/7(金)～9/21 (金)

13:00-16:00

### 授業内容

風景写真をもと水彩画を描く。水張りした画用紙に透明水彩を用いる。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月7日	金		実技カリキュラム	○	水張り、技法説明、制作	
2	9月14日	金		実技カリキュラム	○	制作	
3	9月21日	金		実技カリキュラム	○	制作、講評	

### 学習目標

ウォッシュ、ウエット・イン・ウエット、ドライブラシなどの水彩技法の体験、習得。

### 予習・準備物

### 注意事項

### 評価方法

提出課題による採点

# テーマ制作A (写真と絵画)

担当教員 馬場健太郎

受講アトリエ [801]

9/3(月)~10/24 (水)

## 授業内容

写真と絵画の実作品の例を見て、レポートを書く、その後アトリエ内または近場にて風景、人物等をできるだけ多く撮影し、プリントする。そしてセレクトした写真を、考察し得意な画材で（油彩、水彩、アクリルなど）制作。プレゼンテーション形式で発表し、自身の視点を考える。

- ①授業ガイダンス 写真と絵画の歴史的関係性のレクチャー。
- ②写真と絵画の差異やレクチャーで感じたことのレポート発表。
- ③撮影を行い、プリントを出力。
- ④プリントを見てセレクトする。フォトショップで加工もあり。
- ⑤セレクトした画像イメージを用いて（油彩、水彩、アクリルなど）制作
- ⑥同様に（油彩、水彩、アクリル）制作。
- ⑦作品化に到るまでのプロセスをプレゼンテーション形式で発表。講評会。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月3日	月	○	撮影・プリント出力	○	ガイダンス・レクチャー	PCルーム、プロジェクター
2	9月4日	火		現代美術演習A		撮影	↑カメラからPCにデータ移行
3	9月5日	水		撮影		撮影	
4	9月6日	木		レポート準備 (フランス語)	○	レポート発表・プリント出力	
5	9月7日	金		撮影		絵画技法実習	
6	9月8日	土		撮影 (日本語)		同様に撮影・プリント	
7	9月9日	日					
8	9月10日	月	○	セレクトした写真のコンセプト発表		制作開始	午前のみ指導
9	9月11日	火		現代美術演習A		制作	
10	9月12日	水		制作		制作	
11	9月13日	木		西洋美術史・フランス語	○	制作指導	
12	9月14日	金		制作		絵画技法実習	
13	9月15日	土		撮影 (日本語)		制作	
14	9月16日	日		創立記念日			
15	9月17日	月		敬老の日			
16	9月18日	火		現代美術演習A		制作	
17	9月19日	水		制作		制作	
18	9月20日	木		西洋美術史・フランス語		制作	
19	9月21日	金		制作		ガイダンス	
20	9月22日	土		制作 (日本語)		制作 (特別講座)	
21	9月23日	日		秋分の日			
22	9月24日	月		振替休日			
23	9月25日	火		制作	○	制作指導・プレゼン指導	
24	9月26日	水		制作		制作	
25	9月27日	木		西洋美術史・フランス語		制作	
26	9月28日	金		制作		制作 (海外講座)	
27	9月29日	土		制作 (日本語)		制作	
28	9月30日	日					
29	10月1日	月		制作 (フランス語)		制作	
30	10月2日	火		現代美術実習	○	中間講評会	
31	10月3日	水		芸術論		制作	
32	10月4日	木		制作		制作	
33	10月5日	金		制作		制作	
34	10月6日	土		制作 (日本語)		講評会	* 前期合同講評会

35	10月7日	日			
36	10月8日	月	体育の日		
37	10月9日	火	現代美術実習	○	制作指導・プレゼン指導
38	10月10日	水	芸術論		制作
39	10月11日	木	制作		制作
40	10月12日	金	制作		制作
41	10月13日	土	制作 (日本語)		制作 (特別講座)
42	10月14日	日			
43	10月15日	月	制作 (フランス語)		制作
44	10月16日	火	現代美術実習		制作
45	10月17日	水	芸術論		制作
46	10月18日	木	制作		制作
47	10月19日	金	制作		制作
48	10月20日	土	制作 (日本語)		制作
49	10月21日	日			
50	10月22日	月	制作 (フランス語)		制作
51	10月23日	火	現代美術実習	○	最終講評会
52	10月24日	水	芸術論		片付け

### 学習目標

写真と絵画の共通項と差異について考察し、自分自身の視点から、描きたい「画題（テーマ）」を見つける。

### 予習・準備物

デジタルカメラ、アクリル、水彩（ガッシュ）、鉛筆、木炭など各自が得意とする画材と支持体（大きさはF30号、小品3～4点でも可。）

### 注意事項

初日にPCにDATAを移行できる形を取っておいてください。特にiphone以外のスマホの学生は注意。

### 評価方法

提出課題による採点 やる気、集中力、根気を評価の対象にします。

## 作家研究

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [801]

6/25 (月)~7/20 (金)

## 授業内容

担当講師とのディスカッションを通じ、表現とメチエの関係性を中心に探りながら支持体の実習制作、及び習作に取り組む夏期休暇の期間も含め20~30号の作品を完成させる。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月25日	月	○	連作表現展示		支持体の選択決定	
2	6月26日	火		現代美術演習A		連作表現講評会	
3	6月27日	水	○	オリエンテーション	○	キャンバス実習	
4	6月28日	木		西洋美術史Ⅱ		エスキース制作	
5	6月29日	金		制作		絵画技法実習	
6	6月30日	土		日本語		現代美術演習B	
7	7月1日	日					
8	7月2日	月		制作		制作	
9	7月3日	火		現代美術演習A		制作	
10	7月4日	水		制作		制作	
11	7月5日	木		西洋美術史Ⅱ	○	個別指導	
12	7月6日	金	○	個別指導		絵画技法実習	
13	7月7日	土		日本語		現代美術演習B	
14	7月8日	日					
15	7月9日	月		制作		制作	
16	7月10日	火		現代美術演習A		制作	
17	7月11日	水		制作	○	個別指導	
18	7月12日	木		西洋美術史Ⅱ		制作	
19	7月13日	金	○	個別指導		絵画技法実習	
20	7月14日	土		日本語		就職セミナー	
21	7月15日	日					
22	7月16日	月		海の日			
23	7月17日	火		現代美術演習A		制作	
24	7月18日	水		制作		制作	
25	7月19日	木		西洋美術史Ⅱ		制作	
26	7月20日	金	○	講評		絵画技法実習	

## 学習目標

「連作主題研究」により浮かび上がった諸々の問題を具体的な作家の技法や表現形式に時代背景等に着目しながら自己の作品と照らし合わせて検証し、「創形祭」へ向けた制作を行う。

## 予習・準備物

各自の描画材料

## 注意事項

## 評価方法

提出課題による採点



2年 ファインアート科/ビジュアルデザイン科

## 絵画技法実習 (グリザイユ)

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [502]

6/22(金)~7/20(金)

13:00-16:00

### 授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユを中心に学ぶ。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月22日	金		実技カリキュラム	○		
2	6月29日	金		実技カリキュラム	○		
3	7月6日	金		実技カリキュラム	○		
4	7月13日	金		実技カリキュラム	○		
5	7月20日	金		実技カリキュラム	○		

### 学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

### 予習・準備物

モノクロの人物写真(顔) サイズ227x158mm(タテ・ヨコ自由)をA4の紙にプリントアウトしたもの 面相筆、平筆(小)

### 注意事項

### 評価方法

提出課題による採点

2年 ファインアート科

# 現代美術演習 A

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [302]

6/19 (火)~9/18 (火)

9:00-12:00

## 授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作のヒントを得るために、レクチャーと課題&講評会、課外授業を組み合わせたカリキュラムを行います。レクチャーでは、現代美術についての原理的な解説、日本現代美術史と戦後日本文化全般の解説を中心に行います。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月19日	火	○	オリエンテーション+レクチャー①			
2	6月26日	火	○	レクチャー② (課題①出題)			
3	7月3日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー①			
4	7月10日	火	○	課題①講評会+レクチャー②			
5	7月17日	火	○	レクチャー③ (課題②出題)			
6	9月4日	火	○	課題②講評会+レクチャー④			
7	9月11日	火	○	【課外授業】美術館解説ツアー②			
8	9月18日	火	○	講評会			

## 学習目標

「現代美術」という曖昧な芸術領域について、教科書的な知識だけでなく、より柔軟で多角的な視野から理解し、自らも「作品」を制作できるようにすることを目標とします。レクチャーやツアーなどによるインプットと、課題制作や発表などによるアウトプットの両方を重視します。

## 予習・準備物

## 注意事項

## 評価方法

授業態度及び提出課題による採点

## 連作主題研究

担当教員 高澤日美子

受講アトリエ [801]

5/11(金)~6/22(金)  
9:00-12:00/13:00-16:00

## 授業内容

自分の制作と関連づけるという視点により先行作家を選び、参考としながら、8号を5点制作。モチーフ、テーマ、描画方法など各自自由。講師との対話、クラス内での意見交換や文章理解などにより自分の制作を観察していく過程を大切にしながら、作品を仕上げることの重要性を体感します。ガレリア・プリントで発表するという目標に向けて制作プロセスを立案、実行すること。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	5月11日	金	○	オリエンテーション		絵画技法実習	学生参考資料提示
2	5月12日	土		日本語		現代美術演習B	
3	5月13日	日					
4	5月14日	月		作業	○	個別面談、ラフスケッチ、支持体準備	制作準備・開始
5	5月15日	火		現代美術演習A		作業	
6	5月16日	水		作業		作業	
7	5月17日	木		西洋美術史Ⅱ	○	個別面談、制作	補完面談
8	5月18日	金		作業		絵画技法実習	
9	5月19日	土		日本語		現代美術演習B	
10	5月20日	日					
11	5月21日	月		作業	○	参考作家について一考	例) 私淑
12	5月22日	火		現代美術演習A		作業	
13	5月23日	水		作業		作業	
14	5月24日	木		西洋美術史Ⅱ		作業	
15	5月25日	金		作業		絵画技法実習	
16	5月26日	土		留学生歓迎会		現代美術演習B	
17	5月27日	日					
18	5月28日	月		作業		作業	
19	5月29日	火		現代美術演習A	○	中間発表	クラス内発表
20	5月30日	水		作業		作業	
21	5月31日	木		西洋美術史Ⅱ		作業	
22	6月1日	金	○	文章提出・修正・返却		絵画技法実習	指針文第一稿提出
23	6月2日	土		日本語		現代美術演習B	
24	6月3日	日					
25	6月4日	月		作業		作業	
26	6月5日	火		現代美術演習A		作業	
27	6月6日	水		作業		作業	
28	6月7日	木		西洋美術史Ⅱ	○	最終文章提出	必要に応じて面談
29	6月8日	金		作業		絵画技法実習	
30	6月9日	土		日本語		現代美術演習B	
31	6月10日	日					
32	6月11日	月		作業		作業	
33	6月12日	火		現代美術演習A		作業	
34	6月13日	水		作業	○	ラストスパート表明	仕上げまでの確認
35	6月14日	木		西洋美術史Ⅱ		作業	
36	6月15日	金		作業		絵画技法実習	
37	6月16日	土		日本語		現代美術演習B	
38	6月17日	日					
39	6月18日	月		作業		作業	
40	6月19日	火		現代美術演習A		作業	
41	6月20日	水		作業		作業	
42	6月21日	木		西洋美術史Ⅱ		作業	
43	6月22日	金	○	クラス内講評		絵画技法実習	プリントでの予行練習

## 学習目標

自己の制作を客観的に観る目を持つことを目的とします。芸術の長い歴史の中で、自分は今どこにいるのか、何をしているのかを自覚的、意識的に自分に問う授業です。平易ながら明確に、言葉と作品で明示することが要求されます。

## 予習・準備物

参考にする先行作家の資料（画像・カタログなど）を集めておき、初日に持ってくる。キャンバス・パネルは8号で指定（F・P・M・Sどれでも可）。

## 注意事項

"計画的な制作"も当授業の柱のひとつです。そのためにも、出席6/9（"中間発表"と"ラストスパート発表"への出席必須）以上。事情がある場合には事前に学校（助手）に連絡。また、突然の欠席となる場合には必ず連絡すること。

## 評価方法

課題提出（5作品完成展示・制作に関する文章提出）80/100。制作姿勢&作品内容20/100。

## 2年 ファインアート科

# 現代美術演習 A

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [501]

4/17 (火)~6/12 (火)

9:00-12:00

### 授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。現代の美術の様々な表現方法を分析しテーマに対してどのように実践をするか演習します。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月17日	火	○	オリエンテーション			
2	4月24日	火	○	表現とモチーフとは			
3	5月8日	火	○	演習I 人の考え1			
4	5月15日	火	○	演習II 人の考え2			
5	5月22日	火	○	演習III 描写について			
6	5月29日	火	○	演習IV 色について			
7	6月5日	火	○	演習V 構造について			
8	6月12日	火	○	講評			

### 学習目標

より一層多様化する美術表現に対する理解力を身につける。

### 予習・準備物

### 注意事項

### 評価方法

提出課題による採点

2年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

## 絵画技法実習

担当教員 安藤孝浩

受講アトリエ [502]

4/13(金)~6/8(金)

13:00-16:00

### 授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユを中心に学ぶ。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	金			○	オリエンテーション	
2	4月20日	金			○	制作	
3	4月27日	金			○	制作	
4	5月11日	金			○	制作	
5	5月19日	金			○	制作	
6	5月25日	金			○	制作	
7	6月1日	金			○	制作	
8	6月8日	金			○	講評	

### 学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

### 予習・準備物

### 注意事項

### 評価方法

提出課題による採点

## ドローイング

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [801]

4/10(火)~5/10(木)

9:00-12:00 16:00-16:00

## 授業内容

この授業は次カリキュラム「連作主題表現」の為に準備期間と位置づける。各自、現在興味のある事象に基づき様々な手法でドローイングを行い、イメージの展開や絵画としての多様な造形要素とはどういうものか実践をとおして探る。

## 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月10日	火	○	オリエンテーション10:30~		制作	
2	4月11日	水		制作	○	制作アドバイス14:30~	
3	4月12日	木				制作	
4	4月13日	金		制作			
5	4月14日	土					
6	4月15日	日					
7	4月16日	月		制作	○	制作アドバイス	
8	4月17日	火				制作	
9	4月18日	水		制作		制作	
10	4月19日	木		制作		制作	
11	4月20日	金	○	制作アドバイス			
12	4月21日	土					
13	4月22日	日					
14	4月23日	月		制作		制作	
15	4月24日	火				制作	
16	5月7日	月		制作	○	制作アドバイス	
17	5月8日	火				制作	
18	5月9日	水		制作	○	講評	
19	5月10日	木			○	制作予備日	

## 学習目標

絵画に対する視野を広げ、その多様性と可能性に触れることで、自らの表現世界をより豊かなものにする。

## 予習・準備物

様々な画材（授業内で説明します）

## 注意事項

## 評価方法

提出課題による採点